

事業者コメント

施設名： 社会福祉法人ちとせ会 ちとせ保育園

施設長： 通木 光男

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

当園は、開園以来、地域のニーズに応えようと高度経済期の日本企業のようにトップダウン方式のピラミッド型組織で保育の量を増やし、均一化した保育の提供に邁進してきました。

ところが、多様性を重んじた、子どもを中心にした保育が求められる昨今、一人ひとりの子どもの主体性を尊重した保育実践には、保育者一人ひとりが子どもの心もちを丁寧にくみ取り、今の子どもの姿から保育を組み立てる必要が生じています。そこでは、全ての組織構成員が意欲的に組織運営に参画し、自らの自律性・自発性を前提としたフラットな組織態が必要ではないかと感じていました。

この度の第三者評価の受審を通して、組織の末端は指示待ちでよいのではなく、現場の判断がより重要であるという職員の意識改革を促すことができたのではないかと感じています。

利用者の保護者アンケートの集計及び分析結果を真摯に受け止め、当法人の創立の精神に基づき、子どもたちがありのままの自分を受け容れ、「この世は生きるに値する素晴らしいところなんだ」と思うような、自信や希望や勇気を与えることができるよう、そして保護者の皆さまの社会参画と子育て支援の一翼を担うことができるよう、また職員がこの仕事に喜びと誇りを持つことができるような保育園づくりに努めていく所存です。

アンケートにご協力いただきました保護者の皆さま、また第三者評価を達成するためにご協力いただきました関係機関の皆さまに、心より感謝申し上げます。

<評価後取り組んだ事として>

1. 意欲のある職員の成長を促すための人事管理制度の見直しを開始。
2. 業務マニュアルの改善